主 内 容 な 2面 ○常任・特別委員会の動き・意見書… ○常任・特別委員会の動き…………

○議案等審議結果一覧……………

催され、

No.236

憩いの空間として生まれ変わった藤沢の玄関口=藤沢駅北口ペデストリアンデッキ

広報広聴委員会 発行 藤沢市議会 編集 ☎0466-50-3566(直通) FAX 0466-24-0123

令和2年(2020年) 1月25日 発行日

ホームページアドレス http://shigikai.city.fujisawa.kanagawa.jp/

12月定例会

8面

## 円 伴うシステム改修に要する 母子保健情報の情報連携に 04万7千円 改正に伴う増額補正及び令 接種事業費=283万5千 和2年4月から実施する年 に対する施設整備補助に要 >乳幼児健診等事業費=5 火葬場管理費=521万 国・県の補助金交付要綱 子宮頸がんワクチン予防 マイナンバーを利用した

正予算(第5号)」など23議案が可決、同意されました。 12月定例会は、12月2日から20日までの19日間にわたり開 議員提出による「私学助成の拡充を求める意見書に 市長から提出された「令和元年度藤沢市 一般会計補

8734万8千円とする。 後の予算総額を1530億 防災対策総務費=145

2万6千円 台風接近時に各避難施設

ング及び真空梱包に要する で使用した毛布のクリー

年度をもって指定管理者の

8026万8千円 ▽法人立保育所等施設整備 ▽障がい者等医療助成費= 受給者1人当たりの医療

助成事業費=2444万5 場の有料化に向け、 504万8千円 片瀬江ノ島駅自転車駐車

氏を名誉市民に選定するこ |市民条例に基づき、吉野彰 ○名誉市民の選定について 域の規制標識設置に要する 年3月31日まで ○指定管理者の指定につい

の指定期間が終了するため、 の管理運営について、令和 ある藤沢市片瀬東浜駐車場 元年度をもって指定管理者 て (藤沢市片瀬東浜駐車場) この議案は、公の施設で

めるもの。

とについて議会の同意を求

T機器の世界的な普及や

番13号

年3月31日まで

議会の動き

藤沢都心部再生・公共

総務常任委員会

補正予算常任委員会

議会運営委員会

議会運営委員会

本会議(第3日)

議会運営委員会

本会議(第4日)

議会運営委員会 本会議(第5日)

議会運営委員会

議会運営委員会

本会議(第7日)

総務常任委員会

補正予算常任委員会

広報広聴委員会

(第6日)

【11月】

19日 22日

27 ⊟

29日

10日

11日

12日

16日

17日

18日

19日

20日

【12月】

ン電池の原型を開発し、

指定する必要によるもの。 次年度以降の指定管理者を 【指定管理者となる団体】 藤沢市片瀬海岸2丁目20

協会 指定の期間 公益社団法人藤沢市観光 令和2年4月1日 からて

県立湘南台高等学校の生徒が陳情書をみずから持参

7万2千円を追加し、補正 入歳出それぞれ6億704

ほか1件の意見書が可決されました。

装板)の復旧に要する経費。 藤沢駅南口デッキ階段(外

▽橋りょう改修費=499 (台風第19号復旧対応)

る経費。 2万9千円 西浜橋高欄の復旧に要す

(台風第19号復旧 指定期間が終了するため、

〉自転車駐車場整備費=1 の 17 指定する必要によるもの。 次年度以降の指定管理者を 指定管理者となる団体 藤沢市円行2丁目3番地

公益財団法人藤沢市まち

づくり協会 指定の期間 令和2年4月1日から7

議会事務局

(台風第19号復旧対応)

藤沢聖苑南側斜面地の倒

援するための補助に要する 農業用施設等の復旧を支 (台風第15号復旧対

として野生動物侵入防止用 13万7千円 CSF (豚コレラ)

▽道路維持管理業務費=2 防護柵の設置補助に要する 372万7千円

ある藤沢市生きがい福祉セ ンター(分室を含む。)の ンター(分室を含む。)) この議案は、公の施設で

て(藤沢市生きがい福祉セ 指定管理者の指定につい

ていきます。

おいて、賛成多数で趣旨了承となりましたの

市議会として市に陳情趣旨の実現を求め

この陳情は、

12月10日の総務常任委員会に

▽**畜産振興対策事業費=2** | 我が国の次代を担う研究者 として活躍されているだけ わられている。 令和元年10月にノーベル化 れたことが高く評価され、 会社において名誉フェロー ではなく、大学教授として、

で16人目となる。 なお、名誉市民は吉野氏

の育成などにも精力的に携 また、現在、旭化成株式

つとして、今回陳情が提出されたものです。

内 高校生が の声 市政 情を提出 届 ける T

市に働きかけを求める陳情が提出されました。 をより一層活性化させるために、 の依頼を市議会から行っており、その成果の ェクトとして「#藤キュン課」を発足するよう、 市政に若者の意見を反映させることで藤沢市 神奈川県立湘南台高等学校の3年生より、 同校に対しては令和元年7月に連携・協働 市のプロジ

再生紙を使用しています。

本会議